

2022年度
(第60事業年度)

上半期事業の経過報告書

(2022年4月1日から2022年9月30日まで)

公益財団法人 マリンスポーツ財団

目 次

活 動 状 況	1
---------------	---

第 1 章 事業活動

I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業	7
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業	9

II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業	11
2 特殊小型船舶操縦講習事業	12
3 マリンスポーツ施設の運営事業	12
4 オフィスビル賃貸事業	13

III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業	13
---------------------------	----

第 2 章 組織運営

1 理事会及び評議員会	14
2 役員等の動向	14
3 監査等	15

活 動 状 況

2022年度の上半期業務は、世界各国で社会経済活動の再開が本格化したこともあり、概ね当初計画した通りに各事業を遂行することができた。とりわけ今期は、4月に新規公益事業の「横須賀市港湾緑地公園の運営管理事業」を開始し、8月に新規収益事業の「オフィスビル賃貸事業」を開始しており、前者は新たなマリンスポーツの活動水域として、後者は新たな公益事業の財源として、その活用を始めている。また、予てより計画していた本部事務所の移転については、8月中に引っ越し作業及び諸手続きが完了し、8月15日より中央区築地の自社ビル「AQUAビル」での業務を開始している。なお、各事業の推進においては、これまで同様、適宜適切な感染防止対策に努めた。

マリンスポーツ普及事業では、親水活動において、リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドイベントを企画立案し、イベント会場の3密（密集、密接、密閉）を回避することで、3年ぶりに多くの親水イベントを開催した。次世代の人材育成においては、海洋高校の生徒を対象としたマリンスポーツ実習を行い、将来の海事産業の活性化のための基盤づくりを行った。また、SDGs（持続可能な開発目標）の実践においては、本事業のテーマ「未来に残そう私達のマリフィールド」の達成を目指し、いくつかの親水イベントにおいて、SDGsについて楽しく学べるワークショップ「SDGs Village」を開催し、現在当財団の指定管理施設で活用中の海洋浮遊ごみ自動回収機「シービン」の実演展示や、海洋プラスチック問題を扱った学習プログラムの提供を行った。

水上安全啓発事業では、水域利用の健全化に取り組む各地自治体等に協力し、対策会議への参加や水上オートバイの安全指導などを行うとともに、感染拡大の沈静化に伴い再開となった各種マリンスポーツ競技会の水面の安全管理などを行った。また、今年度のJBWS S連携協議会では、オンラインによる他団体交流を行い、その様子を動画配信することで、広く水上安全の啓発を行った。

施設マネジメント事業では、4月1日より「横須賀市港湾緑地公園（うみかぜ公園・海辺つり公園）」の指定管理業務を開始し、日常の施設運営管理を主体に、それぞれの特色を活かした施設の有効活用を行っており、うみかぜ公園は、「体験乗船会の会場」として、海辺つり公園は、「釣り大会の会場」として、マリンスポーツ普及事業にて大いに活用を行っている。また、以前から管理を行っている施設については、継続して適切な感染防止に取り組むことで、平常通りの施設運営を行い、それぞれ施設の稼働率をコロナ前の水準に近づけることができた。

このほか、財団の広報活動においては、公式ホームページやSNSを積極的に活用し、各事業の活動報告や水辺に関する世界のニュース紹介などを継続して行っている。また、当財団の認知度を向上させるための新たな取組として、SNS上に毎月1回1週間の有料広告を出稿したところ、SNSのフォロワー数が堅調に伸びはじめ、財団の情報発信力を強化することができた。

第1章 事業活動

I 公益事業

1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業1）

本事業では、関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと、広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供し、マリンスポーツの魅力や楽しさ、水辺の安全知識、ライフジャケットの有用性、海洋環境系ワークショップ等を開催した。

また、新たな水上のアクティビティとして、水上自転車（フローティングバイク）をメーカーと協働して実施することができた。

- 該当するSDGs -

4 [教育]・12 [責任]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・17 [パートナーシップ]

(1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

① 親水イベントの開催・支援

共催・協力事業では、5月に予定していたマリンスポーツフェスタin碧南は、福祉施設利用者向けの体験乗船会のため新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったが、東京都台東区の隅田川での「Marine Sports Festival in 隅田川」、大阪府泉佐野市の関空マリーナでの体験乗船会は、事前予約制など参加者を絞り、感染拡大防止を講じて地元主催者と共同して実施した。

期 日	行事名称	場 所	参加者数	前年度
5/29	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催：協同組合浅草商店街連合会)	東京都台東区 (隅田川)	83	149
7/15	「いずみさの関空マリーナ」海洋体験 (主催：泉佐野ウォーターフロント(株))	大阪府泉佐野市 (いずみさの関空マリーナ)	29	-

② 「未来に残そう私達のマリフィールド」プロジェクトの展開

体験乗船会等の親水イベントで、海洋環境系のワークショップを展開し、次世代にきれいな海を残すための活動を展開した。

また、シービンを活用して当財団のSDGsへの取組みの周知と子供達へ海洋環境について学ぶ場を提供した。

期 日	場 所	内 容	参加人数
6/4	神奈川県横須賀市 海辺つり公園	うみかぜカーニバルにおいて、座学講習でSDGsについての講習を実施	55
7/12	神奈川県横須賀市 浦賀ボートパーク	千葉大学2年生によるシービンの見学とシービンとボートで回収した海洋ゴミからマイクロプラスチック採取実験を実施	8
7/29-30	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	200
9/26	神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを開催	109
9/28	神奈川県横須賀市 浦賀ボートパーク	環境活動家 露木志奈氏による Instagram 配信用のシービン紹介動画の撮影に協力 (フォロワー数 1.5 万人 いいね 2,248 人)	15,000

③ ライフジャケットの着用推進活動

今年度は、コロナ禍以降ライフジャケットレンタルステーションが設置された20か所の海水浴場のすべてが開設され、うち2か所を除いたレンタルステーションが再開した。

a. ライフジャケットレンタルステーションの利用状況

	設 置 場 所	本年度	前年度
1	神奈川県逗子市 逗子海岸海水浴場	2,606	601
2	静岡県湖西市 新居弁天海水浴場	92	73
3	静岡県浜松市 弁天島海水浴場	13	—
4	神奈川県鎌倉市 由比ガ浜海水浴場	73	—
5	神奈川県鎌倉市 材木座海水浴場	329	—
6	神奈川県鎌倉市 腰越海水浴場	15	—
7	神奈川県藤沢市 片瀬東浜海水浴場	データ収集中	—
8	神奈川県藤沢市 片瀬西浜海水浴場	データ収集中	—
9	神奈川県横浜市 海の公園 海水浴場	33	89
10	兵庫県神戸市 須磨海水浴場	271	—
11	神奈川県茅ヶ崎市 サザンビーチちがさき	データ収集中	—
12	神奈川県足柄下郡 湯河原海水浴場	※	—
13	福島県相馬市 原釜尾浜海水浴場	27	34
14	神奈川県平塚市 湘南ひらつかビーチパーク	7	—
15	新潟県聖籠町 網代浜海水浴場	※	—
16	京都府宮津市 天橋立海水浴場	108	44
17	京都府宮津市 丹後由良海水浴場	49	26
18	福岡県糟屋郡 新宮海水浴場	292	243
19	千葉県長生郡 一宮海水浴場	218	—
20	茨城県大洗町 大洗サンビーチ海水浴場	2	—
合 計		現状 4,135	1,110

※レンタルステーション非開設

④ 次世代の人材育成

本事業は、各学校の実施基準に基づく感染防止対策のもと、マリンスポーツ実習を実施した。

a. 海洋高校等に対するマリンスポーツ教育等の支援

(a) 神奈川県立海洋科学高等学校のマリンスポーツ実習

① ディンギー実習

実施期日 5月6日・5月13日・5月20日（3回）

実施場所 校内、浦賀湾

対 象 2年生 4名

② カヌー指導員トレーナー資格取得に向けた講習、普通救命講習、海の安全についての講習

実施期日 5月27日・6月3日・6月10日・6月17日（4回）

実施場所 校内、森戸海岸

対 象 2年生 4名

③ SUP指導員3級取得に向けた講習

実施期日 9月2日・9月9日（2回）

実施場所 浦賀湾

対 象 2年生 4名

④ ウィンドサーフィン実習

実施期日 9月16日・9月30日（2回）

実施場所 三浦海岸

対 象 2年生 4名

(b) 新潟県立海洋高等学校マイスターハイスクール事業への協力

① 特殊小型船舶操縦士免許の取得に向けた水上オートバイの操船体験

実施期日 7月21日（1回）

実施場所 能生海岸（新潟県糸魚川市）

対 象 1年生 72名

② シーシニア資格取得講習会

実施期日 8月1日・8月2日・8月3日（3回）

実施場所 久里浜海岸・三浦海岸

対 象 先生 1名

③ イベント運営と企画について（座学講習）

実施期日 9月14日（1回）

実施場所 校内
 対 象 1年生 78名

④ イベント開催に向けて（座学講習）

実施期日 9月15日・16日（2回）
 実施場所 校内
 対 象 2年生 16名

⑤ イベントシミュレーション実習

実施期日 9月30日・10月1日（2回）
 実施場所 校内・能生海岸
 対 象 2年生 16名

b. 次世代人材の育成に関する新たな取組等の調査研究

(a) 学生に対する奨学金（助成金）制度の調査研究

新規事業の確立のため、関係官庁の担当者と打ち合わせを行った。

⑤ 広報活動の拡充

当財団の事業及び世界の水辺に係るニュースを主体に、SDGsを含めた情報（12回）をホームページはじめ、SNSによる情報発信を実施した。

	掲載数	年度当初 フォロワー数	目標 フォロワー数	フォロワー数
ホームページ	51回			
Facebook	133回	1,351名	1,700名	171名
Twitter	132回	484名	1,000名	950名
YouTube	48回	516名	1,000名	653名

a. 創立60周年に向けたデータ整理等準備

当財団創立60周年史の構成等について打合せを行った。

(2) 管理施設を活用したマリンスポーツの啓発事業

① 管理施設におけるマリンスポーツの啓発活動

神奈川県横須賀市の各指定管理施設において、浦賀ボートパークでは、同市ならびに地元企業等の協力のもと、マリニイベントを実施、同市の感染予防対策ガイドラインに準拠しながらマリンスポーツにおける安全啓発を行った。

a. うみかぜカーニバル in 海辺つり公園

実施期日 6月4日（土）

実施場所 神奈川県横須賀市 海辺つり公園
実施内容 ・ うみかぜ釣り大会
・ 水辺の安全教室
・ ライフジャケット装着デモンストレーション
・ 釣り教室と海洋環境について
参加人数 18組55名

b. うみかぜカーニバル in うみかぜ公園

実施期日 7月29日(土)・30(日)
実施場所 神奈川県横須賀市 うみかぜ公園
実施内容 ・ 体験操船
SUP、BIGSUP、フローティングバイク
・ 体験乗船
キッズボート
・ マリンスポーツデモンストレーション
水上オートバイフリースタイル
アクアボード
ヨット(49級)
ウィンドサーフィン
・ 横須賀海上保安部、横須賀税関支署等のブース出展
・ パリオリンピック応援ブース 他
・ SDGsビレッジ
参加人数 200名

c. うみかぜカーニバル in 深浦

実施期日 9月11日(日)
実施場所 神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク
実施内容 ・ 体験乗船
プレジャーボート
・ 横須賀海上保安部
水辺の安教室
参加人数 108名

d. うみかぜマリンスポーツスクール

実施期日 8月21日・8月22日・9月4日(3回)
実施場所 神奈川県横須賀市 うみかぜ公園
実施内容 ・ SUP
・ SUPヨガ
参加人数 7名

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

本事業では、国土交通省、海上保安庁、及び水上安全啓発団体等との連携により、オンラインイベントや研修等を通じて、水辺の安全知識の普及や安全啓発活動を行った。

- 該当するSDGs -

3 [保健]・4 [教育]・17 [パートナーシップ]

(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

① 地域における安全啓発活動の充足

関西地区における水上オートバイ等の安全利用の促進に取り組む各種団体に協力し、連絡調整会議への参加や、水上オートバイ利用における安全指導等を行った。

a. 新海上安全指導員（民間ボランティア）育成に対する協力

(a) 水上オートバイ安全指導研修

第五管区海上保安本部所轄の保安部署係員に対する水上オートバイ安全講習会に向けた研修を実施した。

実施期日 7月12日

実施場所 大阪府貝塚市二色の浜公園

参加者 第五管区海上保安部安全対策課員5名

b. 地域活動に対する協力、支援

(a) 水上オートバイに関する対策に関する連絡調整会議

主催 兵庫県

実施期日 6月2日

実施場所 兵庫県神戸市

参加団体 兵庫県関係機関・警察・運輸局・保安部・漁業者・啓発団体等

検討内容 水上オートバイに関する条例改正、今後の活動等に関する協議

(b) 二色の浜海岸及び二色沖の安全利用の為の連絡会

主催 兵庫県明石市

実施期日 6月6日

実施場所 兵庫県明石市

参加団体 明石市関係機関・警察・運輸局・保安部・漁業者・啓発団体等

検討内容 水上オートバイに関する情報共有、今後の活動に関する協議

(c) 二色の浜海域合同パトロール

実施期日 4月24日

実施場所 大阪府貝塚市二色の浜周辺海域

参加団体 岸和田海上保安署、(公社)関西小型船安全協会、二色ハーバー

指導内容 水上オートバイ利用者への安全指導

(d) TPSP (水上オートバイ) 安全講習会への協力

実施場所 東京都江東区他
実施期日 4月2日・6月5日・23日・7月28日・31日・8月21日
9月11日・29日(8回)
参加対象 水上オートバイ一般利用者
実施内容 東京港及び周辺水域の健全利用、安全、マナーに係る講習

c. 連携ネットワークの構築

新設したMarisサポーター制度による「Water Safety パートナー」として6団体を登録した。

② 安全講習会の実施

※下半期(10月～3月)に開催を予定。

③ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

マリンスポーツイベントや競技会において海域の警戒及び救助等安全管理体制を整備し、競技会等の安全性向上に努めた。

期 日	内 容	場 所
6/26	パワーボート都連シリーズ第1戦 安全管理	茨城県神栖市
7/23	NOWS三宅島OWS大会 安全管理	東京都三宅島
7/23-24	パワーボートレース in 東京湾 安全管理	千葉県木更津市
8/21	NOWS三浦OWS大会 安全管理	神奈川県三浦市
9/4	パワーボート都連シリーズ第2戦 安全管理	茨城県神栖市
9/10	湘南オープンウォータースイミングレース 安全管理	神奈川県逗子市

(2) 国内外における水上安全に関する連携強化

① JBWSS (Japan Boating & Water Safety Summit) : 国内における水上安全サミットの実施

JBWSS連携協議会では、「ウォーターセーフティガイド」策定に参画した各マリナーアクティビティ団体が、それぞれどのような活動を行い、どのように一般ユーザーに向けてメッセージを伝えているのかを紹介し合うイベントを開催し、その記録映像をYouTubeで配信する取組を行った。

a. 『楽しい!×水辺!』～私たちの○○セーフティガイド!!～

実施期日 7月29日(金)
実施場所 オンライン
主 催 JBWSS連携協議会(構成団体:当財団、水難学会、日本海洋レジャー安全・振興協会)
共 催 関東小型船安全協会、舵社、国土交通省海事局、海上保安庁
参加人数 55名

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

本事業では、指定管理業務として大阪府営二色の浜公園及び横須賀市立港湾緑地公園（うみかぜ公園、海辺つり公園）の施設運営管理を行った。

二色の浜公園においては、適切な感染防止対策に努めることで、スポーツ施設及び水上オートバイ施設を平常通り運営した。また、今年度も隣接する二色の浜海水浴場が不開設となり、水上オートバイと遊泳者の事故発生の懸念が高まったことから、これまで同様、自主的に両者を棲み分けるゾーニング（侵入禁止ブイの設置）を行った。このほか、例年のとおり、水上オートバイ利用者への安全指導、周辺海域での監視活動を行い、適正な管理運営に努めた。

横須賀市港湾緑地公園においては、今年度4月1日より施設運営管理を開始し、日々入念な園内清掃や設備点検等を行いながら、うみかぜ、海辺つり両公園それぞれの特色を活かした自主事業を展開し、人々が気軽に楽しく快適に水辺に親しむことのできる環境の整備を行った。

- 該当するSDGs -

3 [保健]・4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・15 [陸上資源]

(1) 大阪府営二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間	2022年4月1日から2022年9月30日
所在地	大阪府貝塚市
管理施設	公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他）、水上オートバイ施設
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の適正な維持管理と運営 ・施設の有効活用 ・利用者サービスの向上 ・来園者に対する啓発活動 ・周辺海域の安全管理

① 公園利用状況

a. 公園利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)	前年度 (4月～9月)	前年度比 (4月～9月)
来園者	56,108	115,916	57,512	70,132	71,472	50,676	421,816	218,580	193.0%
テニスコート	864	1,207	1,392	2,592	1,327	2,638	10,020	2,604	385.0%
軟式野球場	149	661	799	360	488	468	2,925	1,287	227.3%
球技広場	988	960	968	826	435	2,259	6,436	2,343	275.0%
スポーツ広場	16	110	126	90	56	80	478	267	179.0%

b. 水上オートバイ専用施設利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)	前年度 (4月～9月)	前年度比 (4月～9月)
利用船舶	72	144	230	459	465	186	1,556	1,197	130.0%
新規登録	8	18	46	52	40	17	181	149	121.5%
更新登録	4	7	22	38	28	9	108	91	119.0%

(2) 横須賀市立港湾緑地公園の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間 2022年4月1日から2022年9月30日

所在地 神奈川県横須賀市

管理施設 うみかぜ公園（スポーツ広場、遊具広場、芝生広場、その他）

海辺つり公園（広場、釣り広場）

業務内容 ・施設の適正な維持管理と運営

・利用者サービスの向上

・来園者に対する啓発活動

・施設の有効活用

・自主事業イベント（「うみかぜカーニバル in 海辺つり公園」、
「うみかぜカーニバル in うみかぜ公園」など）

① 公園利用状況

a. うみかぜ公園利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)
来園者	16,461	29,396	14,341	18,539	17,322	11,682	107,741
スポーツ広場	3,866	4,632	3,209	5,343	3,570	3,715	24,355
遊具広場	1,865	2,409	1,231	739	1,018	1,078	8,340
芝生広場	6,538	13,619	5,332	6,488	7,006	3,477	42,640
他	4,192	8,736	4,569	5,969	5,728	3,412	32,606

b. 海辺つり公園利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)
来園者	4,265	8,288	6,401	4,484	4,517	4,265	32,220
広場	2,039	3,579	2,602	1,998	1,677	2,039	13,934
つり広場	2,226	4,709	3,799	2,486	2,840	2,226	18,286

II 収益事業

1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業（収益事業1）

本事業は、公益事業3に付帯する事業であるため、駐車場管理や物販をはじめ、公園の魅力や利便性の向上を図るため、バーベキュー施設に関しては、お客様に安心して利用していただくために、大阪府より感染症対策認証飲食店「大阪府ゴールドステッカー」を取得し営業を行った。なお、野外炉は、4月1日から5月31日の土日祝日のみ営業し、6月4日より、通常開設とした。

(1) 海浜公園における駐車場管理・物販及び自主事業

実施時期 2022年4月1日から2022年9月30日

実施場所 大阪府貝塚市（沢、脇浜、海浜緑地）

業務内容 駐車場、付属施設の運営及び維持管理

利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)	前年度 (4月～9月)	前年度比 (4月～9月)
入場車両	4,956	9,870	4,997	6,302	6,551	4,558	37,234	19,116	195.0%
野外炉利用者	311	624	429	634	638	458	3,094	156	1983.3%

(2) 海浜公園における自主事業

① 公園の魅力・利便性向上の取組み

- 実施内容
- ・BBQレンタル
 - ・マリンスポーツ器材のレンタル・水上オートバイ体験乗船
 - ・DAYキャンプ、ドッグフリーDAYキャンプ

実施場所 二色の浜公園（沢地区、海浜緑地）

利用状況（沢）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)	前年度 (4月～9月)	前年度比 (4月～9月)
BBQレンタル	-	-	-	307	772	179	1,258	0	-
マリンスポーツ 器材レンタル	-	-	-	0	0	0	0	0	-
DAYキャンプ	-	-	-	232	299	90	621	22	2,822.7%

※7月より事業実施

利用状況（海浜緑地）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (4月～9月)	前年度 (4月～9月)	前年度比 (4月～9月)
BBQレンタル	0	0	0	0	0	0	0	0	-
マリンスポーツ 器材レンタル	0	0	0	0	0	0	0	0	-
DAYキャンプ	0	242	56	38	42	7	385	18	2,138.9%
ドッグフリー DAYキャンプ	0	64	12	23	17	9	125	17	735.3%

※5月1日より土日祝日のみ事業実施

2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、安全意識の向上に重点をおいた免許取得講習会を次のとおり実施するとともに国家試験に協力した。

- 該当するSDGs -
4 [教育]・14 [海洋資源]

(1) Maris ジェットスクールの運営事業

① 試験コース

次のとおり講習会を9回開催し、国家試験が10回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
5/7・21・6/8・24・7/14・30 8/26・9/17	特殊小型船舶操縦士試験	二色の浜公園海浜緑地	—	40
4/16	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	11	—
4/17	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	10
4/29	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	12	—
4/30	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	13
5/25	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	9	—
5/26	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	9
6/11	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	19	—
6/12	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	19
8/6	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	19	—
8/7	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	17
8/18	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	11	—
8/19	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	18
9/3	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	12	—
9/4	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	12
9/27	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	13	—
9/28	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	13
合 計			106	151

3. マリンスポーツ施設の運営事業（収益事業3）

- 該当するSDGs -
4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]

(1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営（指定管理業務）

横須賀市立深浦ボートパーク、浦賀ボートパークでは、感染防止対策を引き続き実施し、通常どおり運営を行った。なお、施設を活用した地元自治会イベントや体験クルー

ズなどについても、通常どおり開催し、無事事故もなく終了することができた。

施設利用数

(2022年9月30日現在)

	深 浦	浦 賀	計	前年度	前年度比
係留船舶数	107 隻	60 隻	167 隻	167 隻	100.0%
駐車場利用台数	16,915 台	4,017 台	20,932 台	12,463 台	167.9%

4. オフィスビル賃貸事業（収益事業4）

当財団所有のAQUAビル（地上6階、地下2階）において、当財団本部事務所として使用するほか、一般に対し事務所の賃貸を行った。

所在地 東京都中央区築地4-3-11

賃貸施設 事務所 13室（13室入居中）

倉庫 1室（募集中）

業務内容 事務所及び倉庫の賃貸

空きスペースの有効活用

貸出面積 506.47 / 616.10 m²（財団使用6階部分は除く）

※稼働率 約82%

III その他継続事業

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

(1) マリンスポーツ競技団体等の活動支援

① 競技団体に対する運営支援

支援内容	支援先
運営支援	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWWF)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワーボート協会 (JPBA)
運営協力	(一社)日本アマチュアボートレース協会 (JABA)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSHA)

第2章 組織運営

I. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を2回、評議員会を2回開催した。

1. 理事会

回	期日	場 所	議 題
第31回	2022年 6月8日	笹川記念会館 4階第1会議室	(1) 報告事項 ・大阪府営二色の浜公園の次期指定管理者の結果について ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について (2) 2021年度事業報告及び決算報告(案)の承認について (3) 次期会長、理事長、常務理事の選定について (4) 定款の変更(案)について (5) 規程の一部改正(案)について (6) その他緊急を要する件(基本財産の運用について)
第32回	2022年 8月1日	書面決議	(1) 会長、理事長、常務理事の選出について

2. 評議員会

回	期日	場 所	議 題
第19回	2022年 4月25日	笹川記念会館 4階第1会議室	(1) 報告事項 ・2022年度事業計画及び予算計画について ・その他(大阪府営二色の浜公園の次期指定管理者指定申請の結果について) (2) 任期満了に伴う次期役員(理事、監事)の選任について (3) 事務所ビルの購入について
第20回	2022年 6月27日	公益財団法人全 日本空手道連盟 会議室	(1) 報告事項 ・第31回理事会の開催結果について (2) 2021年度事業報告及び決算(案)の議決について (3) 定款の一部変更(案)について (4) 規程の一部改正(案)について (5) 任期満了に伴う非常勤役員に対する退任慰労金支給について

II. 役員等の動向

2022年4月25日、第19回評議員会において、第6期理事・監事が選任され、堀越富士夫氏が新任理事として、石川貴博氏が新任監事として就任した。また、関田 宏理事が2022年6月27日付で任期満了に伴い退任となった。

Ⅲ. 監査等

本年度は、次のとおり実施された。

期 日	実施者	場 所	内 容
2022年 6月2日	当財団監事	当財団会議室 (東京都港区三田 3-14-10)	2021年度事業報告及び決算

Ⅳ. 事務局運営体制

本年度、事務局では、リモートワークと時差出勤の併用により感染対策を行いながら、パンデミック以前同等以上の事務局運営体制を取り戻した。

なお、事務所内においては、マスクの着用、室内換気、手洗い励行、手指消毒等を継続して実施している。

Ⅴ. 関係団体との交流

本年度は、次のとおり関係団体との交流や、海事業界との情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

1. 官庁・海事関連団体等

主 催 団 体	出席回数	会 議 内 容
海上保安庁	1	意見交換会、研修会等
日本マリン事業協会	2	PWC部会

Ⅵ. 環境に配慮した活動

環境に配慮した事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを図るとともに、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。